

バロネス・サリー・グリーングロス

ILCグローバル・アライアンス共同理事長、ILC-UK理事長、英国上院議員

## 1 ● 欧米諸国におけるプロダクティブ・エイジングの現状

プロダクティブ・エイジングの実現にあたっては、住宅、医療、介護、雇用、高齢化のためのデザイン、建築環境、これら全てを考慮に入れていかなければならない。

英国には、ナショナル・デザイン・カウンシルというものがあり、まちの設計、環境の設計、また、都市の設計を高齢者に配慮した上でどう行っていくべきかを考えている。また、企業や雇用主も積極的に関与し、高齢社会に対する理解を深め、貢献していく必要がある。これは正規雇用対策のみをすればいいというわけではない。同時に社会参画も推進していかなければならない。教育やボランティア活動、NGOの活動も非常に重要な側面である。これら全てが高齢社会の中で役割を果たしていかなければならない。

一方で、プロダクティブ・エイジングを阻害する大きな要因として、多くの欧米諸国においては、年齢差別がある。現在、これを禁止するために各国で法制化が進んでいる。英国では、既に雇用における高齢者あるいは若年者に対する年齢差別を法律で禁止している。しかし、全ての分野でこれが尊重され、改善されているわけではない。

## 2 ● イギリスおよびヨーロッパの高齢者の就労状況

イギリスの2011年の人口動態統計によると、20年以内に4人に1人が高齢者となり、2020年には3人に1人の労働者が50歳以上となると推計されている。しかし、高齢者の就労については、数は増えているが、比率は依然として低い。

英国の就業者と失業者、非就業者の割合を見てみると、

65歳以上の就業者の割合は男女とも非常に低い。全員参加型社会を目指しているが、英国では、高齢者が就業すれば、若者の仕事を奪ってしまうと考えられているため、高齢者と若年層の双方が共に仕事に就くことができるのだということを理解してもらうのが難しい。

数年前まで英国では定年制(65歳)があったが、廃止された。そして「人権と平等に関する委員会」が設置され、私も6年間委員を務めている。この委員会は、「人権や平等はあらゆる年齢の人たちに当てはめられるべきで、人種、性別、性的指向および障害の有無にかかわらず適用されるべき」としている。とはいえ、実際の人々の文化、考え方が変わるにはまだ時間が必要だ。

2012年の労働市場統計によると、イギリスの就業者総数は2,960万人であるが、これは四半期前から4万人の増加、1年前と比較すると50万人の増加である。増加の半数近くは50歳以上で、しかも急速に増加しているのは65歳以上、特に高齢女性である。

現在は65歳以上のうち約100万人が就労しており、この数は10年前の2倍、1年前と比較すると13%の増加である。これらの高齢就労者は全労働人口の3%に過ぎないが、最近の雇用増加の20%を占める。

年齢による雇用差別禁止法によって、雇用主側でも理解が広まり、労働者を年齢によって解雇するといった問題はなくなった。しかし、採用に関しては事情が異なり、高齢者は厳しい状況に立たされている。

若い上司の下で、高齢の部下の業績があまり良くない場

就業者・失業者・非就業者の割合  
2010年12月～2011年2月

	就業者(%)	失業者(%)	非就業者(%)
男性			
全年齢(16-64歳)	75.9	8.0	23.2
50-64歳	71.3	6.0	24.2
65歳以上	11.6	2.3	88.2
女性			
全年齢(16-64歳)	65.5	7.2	29.4
50-64歳	59.0	3.4	38.9
65歳以上	6.7	-	93.1

出典:ONS

talk



### バロネス・サリー・グリーンングロス Baroness Sally Greengross, OBE

1935年生まれ。英国の8つの大学より名誉博士号を授与。1993年大英帝国勲章(OBE)受章。1997年のILC-UK設立当初から理事長、2010年よりILCグローバル・アライアンスの共同理事長を務める。エイジ・コンサーン(英国)会長、ロンドン・キングスカレッジのエイジコンサーン老年学研究共同議長、ユーロリンク事務局長を歴任。2000年より英国議会上院議員(無所属)として活動。2006年12月には「平等と人権委員会」を設立、委員長に就任。また、認知症、世代間関係など、高齢者に関する5つの部会の議長を務める。

合、若い上司たちは祖父母ほども歳の離れた高齢者をどう指導したら良いか、どのような訓練を行ったらいかがかわからず途方に暮れる。したがって新規に高齢者を雇用したがいらない。しかし、高齢者も能力があり、再訓練によって新しいことを学ぶことができるのだということを理解してもらいたいと思っている。そのためには新しい文化、システムを導入しなければならない。今後英国においては、管理者教育への投資を強化し、高齢の従業員を効果的に管理していくことができるようにしなければならない。

一方で、ヨーロッパ全体をみてみると早期退職する人が多く、年金受給開始年齢以降も働いている人は10%程度である。ヨーロッパの金融あるいは財政の危機はこのことが1つの要因となっており、より多くの高齢者の雇用を維持していかなければならないのだが、人々の考え方をを変えることはなかなか難しい。

### 3 ● 高齢者雇用を促進している企業の例

雇用主にとって、中間管理職を新規採用することは非常にコストがかかる。リクルートをし、訓練をして、前任者のレベルまで追いついてもらうまで半年くらいは必要となる。ある銀行の調査によると、若い中間管理職を新規に雇用して訓練するよりも、給料は高いかもしれないが高齢者を雇用し続けた方が結果的にコストは安いという結果が出ている。

ここで英国およびヨーロッパにおいて高齢者の雇用に力を入れている企業を紹介する。1つはBMWだ。

この企業では人間工学に基づいた職場環境の改善を

行っている。照明の位置や明るさを工夫したり、床材を転倒しにくいものにしたたり、立ち仕事の場所に椅子を用意したりしている。さらに、医療スタッフや理学療法士などがサポートをして運動を指導したり、あるいは製造プロセスを変更したり、そういった努力を通じて高齢者が働きやすい職場をつくっている。

BMWでは、こうした高齢者に対するサポートを4,000人に広げていくと言っている。

もう1つの事例は、英国のB&Qという企業で、住宅改修に必要な道具類などを売っているところだ。B&Qでは、3万9,000人の労働者のうち、25%が50歳以上となっている。70歳から80歳代の人たちもマネジャーやディレクターとして活躍し、大変成功している。B&Qは、英国の企業の中で高齢者の活用を考え、そして成功したまさに最初の企業である。

### 4 ● 経済的影響とプロダクティブ・エイジング

プロダクティブな社会というのは、単に高齢者が就労するというだけではなく、もっと幅広く、社会の中で高齢者がどのように生きるかということである。

英国では、非常に多くの家族介護者がいる。彼らは公費節減の面で大きく貢献している。英国とウェールズでは、家族介護者によって1,190億ポンド(約15兆5,000億円)の節減を果たしている。これは高齢者が他の高齢者、障害者、家族などに対して介護を提供していることを意味している。高齢者の中には、虚弱になっていく人もいるが、元気で、家族や自分より若い人の介護をしているという人も多い。したがって高

#### 高齢者雇用を促進する人間工学的な変更： BMW



理学療法士のDaniela Arndt氏はLudwig Lang氏へ、工場でのシフト中に安定感を保つための特別な運動を指導。

#### B&Q



B&Qは16 - 93歳の39,000人を雇用し、うち25%以上が50歳以上、22%が24歳未満である。B&Qは、イギリスで初めて50歳以上の積極的な採用方針を導入した企業で、UK Employers Forum for Ageの創立メンバーでもある。

齢者による無償の介護の貢献ということもプロダクティブ・エイジングと考えなければならない。

また、介護部門の経済的な影響を見てみると、企業としての収入は年間1,509億ポンド（約19兆6,200億円）にのぼる。高齢者は介護を受けることによっても、介護関連の企業の収益を上げることで社会に貢献しているといえる。

## 5. パートナーシップによる高齢者支援

先般、キャメロン首相は、公・民・ボランティア部門・NGO、すべてがパートナーシップによって相互に協力し合わなければ、今後人口動態が大きく変化する高齢社会をうまく乗り切れないと発表した。

実際に、NGOの活躍と公・民・ボランティア部門・NGOのパートナーシップが高齢者の住まいやケアの重要な要素となっている。

### ■ 1. 住まいの支援

住宅供給については、NGOがとりわけ大きく貢献している。住宅協会という形でさまざまなNGOが活躍しており、高齢者向けもしくは障害者向けの住宅を提供している。もちろんこれは国からの助成もあるが、同時に自分たちが収益を上げるということも行っている。最大のNGOはAnchorという住宅協会で、1,000の高齢者向けの物件を提供している。もう1つはHanoverというところで、これは1万8,000の物件を運営している。

英国ではいろいろなモデル事業が実験的に行われているが、そのうちの1つがケア付き住宅だ。建築形態はさまざまで、

アパートであったり、平屋であったりする。ケア付き住宅にはいわゆる高齢者向け住宅に見られる共用の施設（入居者用ラウンジ、ランドリーなど）に加えて、レストラン、ダイニングルーム、医療機関やフィットネス施設、趣味の部屋やコンピュータールームまである。

家事支援や身体介護も受けることができ、通常は施設内の職員が対応する。住宅は賃貸でも所有でも、部分的に所有・賃貸でも良い。

ILC-UKが行った縦断調査によると、ケア付き住宅入居者は入居前に比べて健康状態が改善したという結果がでている。長い間健康でいることにより、病院に入院したり施設に入所する必要がなくなる。これはつまり、公費の節減に大きく貢献するということである。

こういった住宅はまさにモデルとして普及が望まれているが、現在のところ居住者は高齢者全体の8%くらいである。

さらに、湿気の多い老朽化した家に住み、十分に暖を取れない、家の改修もできないという高齢者のために、さまざまな部門がパートナーシップにより支援を行っている。

住宅改善機関（Home improvement agencies=HIAs）は、自治体と協力して、住宅の修理・改善・維持・調整など高齢の住宅所有者の支援に取り組んでいる。

また2013年1月に、英国政府より4,600万ポンド（約60億円）が自治体や第三セクターが行う132の事業に委託され、「燃料不足（fuel poverty）」解消やエネルギー効率の向上のために活用されている。

もう1つ、便利屋サービスがある。家を改修したい、ペンキ

### 住宅協会

•Anchor:  
イングランド最大の、55歳以上向け住宅及びケア提供を行う非営利機関。40年以上の歴史を持ち、1,000を超える高齢者向け住宅や専門的ケアホーム（specialist care homes）を有する。

•Hanoverは、18,000以上の物件を運営している。



を塗りたい、家具を動かしたいといったさまざまな細かなニーズに、ボランティア部門がサービスを提供するというものだ。

さらに、Care & Repair England、これもNGOである。住み慣れた家にできるだけ長く住みたいという人たちに対してさまざまな情報提供・相談・実用的な援助を行っている。高齢者と住宅、医療、介護をつなぐ役割を果たしている。

## ■ 2. 高齢者ケア

高齢者ケアについてもパートナーシップによりさまざまな支援が行われている。

1つは予防的取り組みで、これは私自身も27年間かかわっているAge UKというNGOが行っている。できるだけ長く健康で自立した生活を継続することを目指して、シティーセンターなどでいろいろな人を集めてエクササイズを行っている。また、英国では孤独な高齢者が多いので、そうした方たちに対しても社会的なケアを提供している。

2つ目は認知症対策である。英国政府は認知症を主要テーマとして早急にアクションを起こさねばならないと考えている。1つの取り組みとして、「認知症の擁護者(チャンピオン)」キャンペーンが展開されている。企業の雇用主や社員、またはボランティア組織のメンバーに研修を受けてもらい、認知症の「チャンピオン」あるいは認知症の「フレンズ」に認定する。認定を受けたチャンピオンやフレンズは、地域の人々に認知症を正しく理解させるとともに、認知症の人たちのよい友人になるという役割を持つ。認知症は、早期診断と早期介入がたいへん重要である。

もう1つ、先ほどのAge UKでは、民間企業と協力してさまざまなビジネスを行っている。これを私たちはソーシャルエンタープライズ(社会的企業)と呼んでいる。最も大きなものは保険会社だ。住宅、旅行、ペット等、あらゆる種類の保険関係の事業を行っている。また、燃料供給や葬儀のプランニング、障害者へのアラームやセンサーの提供なども行っている。そして、これらの事業で得た収益を地域へのサービスに還元するということをしている。

## 6. プロダクティブ・エイジングの実現を目指して

私たちは、プロダクティブ・エイジングの実現に向けて、高齢者の気持ちや要望を理解し、高齢者の雇用に向けた戦略的なアプローチを持たなければならない。年金問題については、現状のままではもはや持続困難であるうえに、高齢化によってその他のコストもかかってくる。高齢者の今後に関しては、国も地域も戦略を持って、連携・調和することが必要である。公共部門、ボランティア部門、民間セクター、あらゆる関係者がパートナーシップを組むことにより、サービスの財源や事業の価値を最大限かつ効率的に社会へ提供できるだろう。

また、高齢者が年齢で差別されることなく、社会に必要とされ得る環境を整備していくべきである。年齢で人を判断してはいけない。人は虚弱になったり病気になったりすることはあるが、それは決して年をとったからということではなく、ただその人がたまたま病気になり虚弱になったのだと考える意識の変革が必要だと思う。

### ケア付き住宅(Extra Care Housing)

